下曽我小学校
学校だより

梅の香

令和８年10月13日
藤本　明美
No.6

ふるさと下曽我を愛する子　目標に向かって力を合わせる子　感謝と思いやる心を大切にする子　自ら考えて行動する子

＊記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

◆うれしい気持ちになるのは　誰かな？◆



上の写真は、食堂前の廊下に掲示された「思いやりの木」です。今年度の児童会テーマ「絆を深めるうめっ子団～仲間と協力し日本一素敵な学校にしよう～」に向け、子どもたちが取り組んでいるプロジェクトの一つです。10月9日（金）の前期終業式では、「思いやりの木」に貼ってあった1枚の花びらをもとに、「うれしい気持ちになるのは誰かな？」というテーマで思いやりについて話をしました。



さて、この時うれしいのは誰でしょうか。子どもたちはすぐに「転んだ子。」と答えました。「他にもうれしい人はいないかな。」という私の問いにしばらく考える子どもたち。すると、友達を思いやってうれしくなった自分の経験を思い出したのでしょう。「『ありがとう』って言われると、大丈夫と声をかけた子もうれしいと思う。」という答えが返ってきました。

「他にもうれしい人はいない？」さらに質問を続けました。今度は子どもたちからなかなか答えが返ってこなかったので、上の絵をヒントに出すと、「周りでこの様子を見ている人も温かい気持ちになる。」という答えが返ってきました。

小さな思いやりの言葉や行動は、たくさんの人を笑顔にします。そして、笑顔になった人はまた誰かを思いやり、温かい気持ちは広がっていきます。

後期も子どもたちが育てる「思いやりの木」の成長を見守っていきたいと思います。

◆みんなでつくる運動会◆

最高のうめっ子団　今こそ絆を試す時

運動会が近づいてきました。本校の運動会は、体力向上や集団行動における規律に加え、子どもたちの自主性や協調性、責任感を高める主体的な取り組みを大切にしています。そのため、学年に応じて可能な範囲で子どもたちに決定権を与え、自分たちで考えて行事をつくるという意識をもたせてきました。「ゴールまでのプロセスにこそ価値がある」ことを全教職員で確認し、子どもたちの主体的な活動を支えています。

子どもたちに任せるということは、その分準備時間も必要になります。なぜなら、迷ったり上手くいかなかったりするたびに、友達と話し合ったり方法を変更したりしてつくり上げていくからです。3年生以上の表現は、夏休み前からリーダーが活動を始め、選曲、振り付け、練習を進めてきました。

先日、3･4年生の表現の練習を見させていただきました。子どもたちの話から、みんなで踊ってみたら上手くいかなかったので、はじめに決まっていた振り付けを変更したことが分かりました。表現を成功させるために、子どもたちが自分たちで調整して練習を進めていることに感心しました。

最近は、学年種目やブロック種目の練習も始まっています。こちらもリーダーが中心となり、内容やペア、競技順を決めています。

長い時間をかけ、子どもたちが自分たちの力でつくってきた運動会。応援しながら、子どもたちの「絆」と熱い思いを感じていただけたらと思います。

〈各応援団から一言〉

赤組　炎のような熱い団結力で　優勝だ！

シャキーラの「WAKA　WAKA」の替え歌を応援歌にしました。「赤組は　最強で　最高のチーム」というフレーズが気に入っています。応援団だけでなく、みんなで仲良く声をそろえて盛り上がりたいと思います。

青組　勝利の波にのって　優勝だ！

SEKAI NO OWARI の RPG の替え歌を応援歌にしました。元の歌詞にある「青」という言葉を生かして歌詞をつくりました。

「怖くても大丈夫　僕らはもう一人じゃない。」

力を合わせてがんばります。

6年生が中心になって制作した「下曽我　ONDO」が完成しました。下曽我の四季を表現した素敵な曲です。ご家庭でお子さんと一緒に練習し、運動会当日の踊りの輪にぜひ入っていただきたいと思います。

〈1番：春〉

梅の花咲く　下曽我で
素敵な出会い　待ってるよ
海に囲まれ　富士山が
にこにこ　のぞいてる
雪解け　菜の花
咲いてきて
ししまい　おはやし
やってくる（Uh!）
笑顔いっぱい　梅まつり
下曽我 ONDO だよ

〈2番：夏〉

梅もぎ 梅干し 梅ジュース
ころころ転がる　丸い梅
ころうめちゃんが 生まれたよ
きらきら うめっ子団
夢がいっぱい
広がって
梅の香りも
広がるよ（Yo!）
自然豊かな　風が吹く
下曽我 ONDO だよ

〈3番：秋〉

お祭りいっぱい にぎやかな
太鼓の音が　響いてる
みんな集まり 手をたたこう
とびきり　笑顔でさ
曽我山のように
大きくなあれ
絆をもっと
輝かせ（Say!）
落ち葉ひらひら 舞っている
下曽我 ONDO だよ



〈4番：冬〉

下曽我大好き この場所で
生まれ育って つながって
にっこりふるさと　梅の里
手を取り　輪になって
寒い風吹く
冬の日も
仲間がいれば
あったかい（Yeah!）
みんな愛する　ふるさとの
下曽我 ONDO だよ

◆第２回学校運営協議会◆

10月2日（金）に学校運営協議会を行いました。全国学力・学習状況調査報告と学習参観の後、「下曽我小の子どもたちをどのように育てていくか」について意見交換を行いました。

（1）全国学力・学習状況調査（6年対象）の結果から

国語は、「好き」と答える児童が多く、文章を読んで考えたことを記述するような問題にもしっかり取り組めていました。今後も図書や新聞、インターネットの情報を取捨選択する力を高め、自分の考えをまとめる力をつけていきます。また、授業以外に読書をする子が半数程度しかいないことも分かりました。読書の楽しさを伝える取組を引き続き行っていきます。

算数は、ほとんどの子どもたちが、学習したことは社会で役立つという意識をもち、解き方が分からない時もあきらめずに考えていることが分かりました。今後もこの意欲を大切にしながら、問題の意味を理解し、式や言葉、数を用いて表現する力をつけていきたいと思います。

生活に関する質問用紙では、ほとんどの子どもたちが「地域や社会をよくするために何かしたい」と答えており、全国平均を大きく上回っていました。地域と連携したこれまでの活動の積み重ねが、子どもたちの郷土愛を育んでいることがよく分かりました。一方で、スマートフォンやパソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等での SNS や動画視聴時間の長い子どもたちが多いことも分かりました。ご家庭でも規則正しい生活ができるよう声掛けをお願いいたします。

2）下曽我小の子どもたちをどのように育てていくか

学校運営協議会委員の方からは、郷土愛を育む中で、人とつながるよさを味わわせていきたいという意見が、多く出されました。また、自分で考えて行動する力や地域のために力を発揮して社会を築いていく子どもを育てることも必要だとする意見がありました。さらに、他者との良好な関係を築くためには、互いの違いを認めて生かし合うこと、相手の立場に立って思いやることが大切だという意見も出されました。

今後の学校運営に生かしていきたいと思います。

☜行事予定はこちらからご確認ください。

☜学校 HP もご覧ください。

学校便りをカラーでご覧いただけます。

https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga_s